



水辺観察会の様子 (Yamanashiみずネットより提供)



ヘビトンボの幼虫

知りたい好奇心

川の環境とリンク 水生昆虫の巧みな生活

世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
科学、歴史など、詳しい先生に解
き明かしてもらいましょう。

この季節、家の周りの池や小さな水路の周りを注意してみると、いくつものクモの巣を見つれることができます。クモは水中から羽化して飛び立った水生昆虫の成虫を待ち構えているかのようです。観察場所を広げて、夜、川にかかる橋の外灯に集まる虫を調べてみると、ここにも水生昆虫の成虫を見つれることができるでしょう。

川の中で、水生昆虫は魚の餌になりますが、水中で生き延びたものは成長すると羽化し、子孫を残すために陸へと飛び立ってゆくからです。

場所の様子も観察

このように、水生昆虫だたしたら、その昆虫がそこで住むことを嫌う何かがあるはずですが。

このように、水生昆虫だけてなくその虫がいた場の様子も一緒に観察しようと思いを凝らしてみると、虫たちの巧みな生存戦略が見えてくるのではないのでしょうか。もし「自分が小さな水生昆虫だったとしたらどこにすみ場を作るだろうか？」と考えながら川の観察をすれば、自由研究のヒントをたくさん見つけることができるはずですが。

次の本などが参考になるでしょう。特に刈田氏の写真はいずれも、この世界に引き込まれます。

石の裏、泥の中にも

ところで水生昆虫と言っても、種類によって、生活する場所、食べ物の種類やその集め方が違います。川の上流で森から流れ込んだ落ち葉がたまっている浅い場所には、落ち葉をかみ砕いて食べる種類の水生昆虫がいます。

もうすぐ夏休みです。川での生き物観察会などに参加すれば、たくさん生き物に触れることができるでしょう。そのとき、「生き物を見た」ということだけに終わらずに、小さな水生昆虫たちの生活を想像してみると楽しいでしょう。

その場所には、ある水生昆虫が見つかったということ、そこにその水生昆虫が生活できる条件が整っていたと考えることができます。逆に、見つけた昆虫が見つからなかったら、

◇刈田 敏著「水生生物ハンドブック」文一総合出版(2003)

◇水生昆虫フォトライブラリー <http://karia.ph.oidb.jp/>

(山梨大学院医学工学総合研究部国際流域環境研究センター) 生命環境学部環境科学科兼任教授 風間ふたば